

概要版

伊万里市 環境基本計画



● ● ● ● ●

2025年度 ▶ 2034年度



伊万里市

第1章 計画の基本的事項

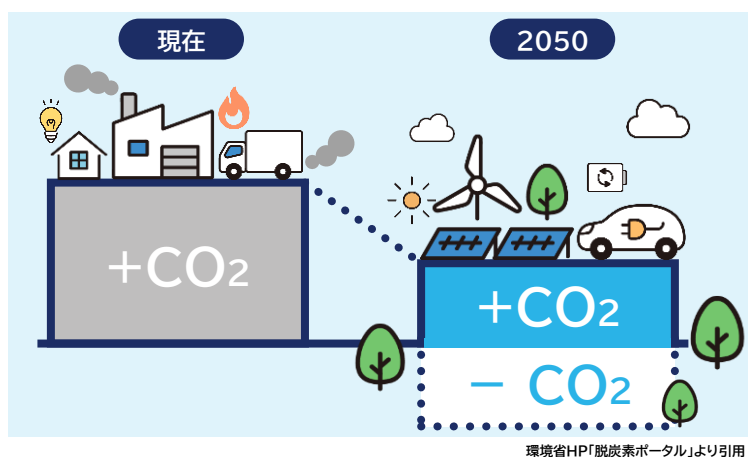
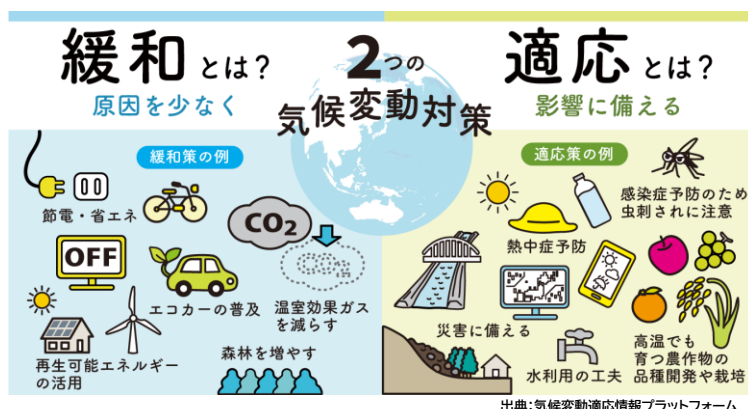
伊万里市は、現在推進している環境への取組の強化・加速化に加えて、
気候変動への適応及び脱炭素社会の実現に向けた取組を推進します

計画改定の背景

近年、持続可能な開発目標「SDGs」のもと、環境・社会・経済における様々な課題の同時解決や「気候変動」「生物多様性の損失」「環境汚染」といった環境危機への対応に関して、世界的な共通認識の確立が進んでおり、環境問題を取り巻く情勢は大きく移り変わっています。

これらの社会情勢等を踏まえて、最新の国・県等の施策への対応、現在推進している取組の強化・加速化に加えて、伊万里市の脱炭素社会の実現を図るため、第2次伊万里市環境基本計画の計画期間終了を1年間前倒し、「第3次伊万里市環境基本計画」として改定します。

また、本計画には、伊万里市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)及び伊万里市気候変動適応計画を内包し、脱炭素社会の実現への方向性を定めます。



計画期間

長期的な将来を見据えて目標を設定することから、下記の**10年間**とします。

ただし、計画の期間内においても、計画の進捗状況、社会情勢の変化、第6次伊万里市総合計画をはじめとする関連計画の見直し等を踏まえ、本計画の見直しを検討します。

2025
年度から



2034
年度まで

第2章 環境の現状と課題

世界の主な動き

- 2015年 人類がこの地球で暮らし続けていくために2030年までに達成すべき持続可能な開発目標「SDGs」を国連総会で採択
- 2016年 世界的な平均気温上昇を産業革命以前に比べて 2℃未満に抑える世界共通の長期目標を掲げ、全ての参加国に排出削減の努力を求めた「パリ協定」がCOP21にて発効

日本の主な動き

- 2020年 2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにするカーボンニュートラルを宣言
- 2021年 「パリ協定」や「2050年カーボンニュートラル宣言」を基本理念とし「地球温暖化対策推進法」を改正
「気候変動適応計画」を閣議決定
2030年度において、温室効果ガスを2013年度から46%削減することを目指し、さらに50%の高みに向け、挑戦を続けていくことを目標とした「地球温暖化対策計画」を閣議決定
- 2024年 気候変動、生物多様性の損失、汚染という地球の3つの危機に対し、早急に経済社会システムの変革を図り、環境収容力を守り環境の質を上げることによって、経済社会が成長・発展できる「循環共生型社会」の実現を目指した「第六次環境基本計画」を閣議決定
循環経済への移行による持続可能な地域と社会づくり、ライフサイクル全体での徹底的な資源循環や資源循環・廃棄物管理基盤の強靱化と着実な適正処理・環境再生の実行などの施策について「第五次循環型社会形成推進基本計画」を閣議決定

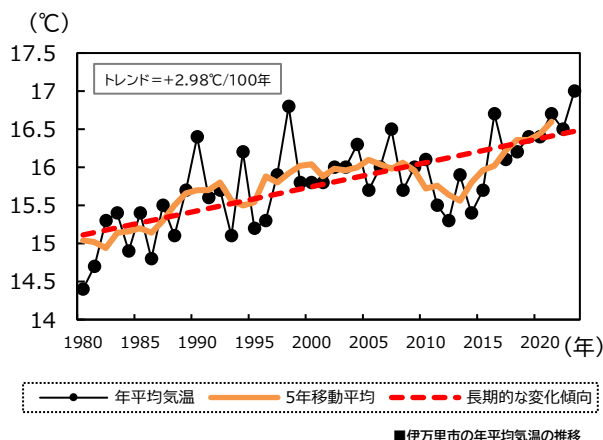
第3章 伊万里市が目指す環境像

市民、事業者、CSO等、伊万里市に関わる全ての人が「協働」して取り組むことが重要です



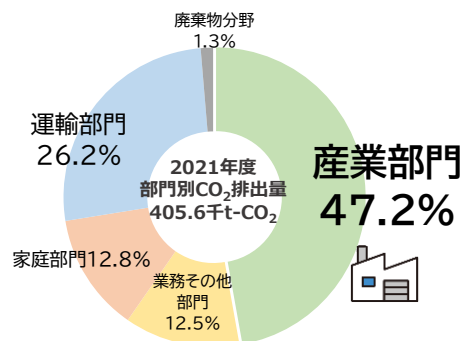
第4・5章 目標実現に向けた取組(地球環境・資源循環)

伊万里市の現状

年平均気温は上昇傾向 

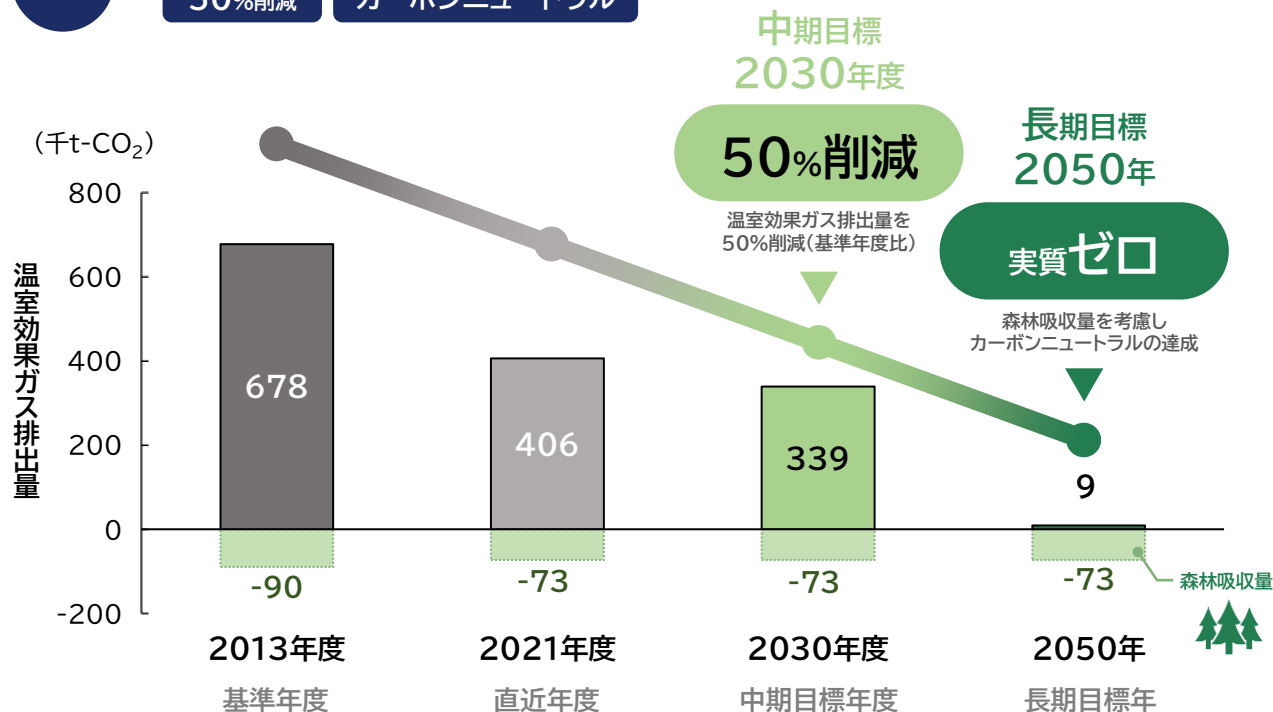
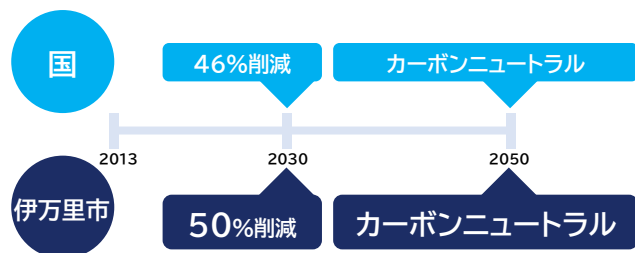
二酸化炭素排出量は

「産業部門」が約47%で最大



温室効果ガス削減目標

2030年度までの国の中期目標よりも高い**50%削減**(2013年度比)を目標として掲げ、
様々な施策に取り組むことで**2050年カーボンニュートラル**を目指します。





エネルギーを有効利用する地球にやさしいまち



1

地球温暖化対策の推進

省エネルギーの推進



再生可能エネルギーの普及



交通の脱炭素化の推進



吸収源対策の推進



2

循環型社会の形成

ごみの発生抑制・適正処理



出典:環境省HP



■食品ロス削減国民運動ロゴマーク



■伊万里市フードドライブ

廃棄物の発生抑制や資源循環の促進を行うことで、廃棄物の焼却時に発生する温室効果ガス排出を抑制することができます。

また、食品ロスの抑制や、より一層の分別によるリサイクルを促進していくことが重要です。

3

適応策の推進

気候変動適応策の推進



7分野について、伊万里市への影響を整理し、対応する「適応策」に取り組んでいきます。



出典:気候変動適応情報プラットフォーム

第6章 目標実現に向けた取組(自然環境・生活環境)



安心・安全・快適で水と緑に囲まれた魅力あるまち



1

自然共生社会の構築

生態系の保全

■伊万里市の希少な生態系

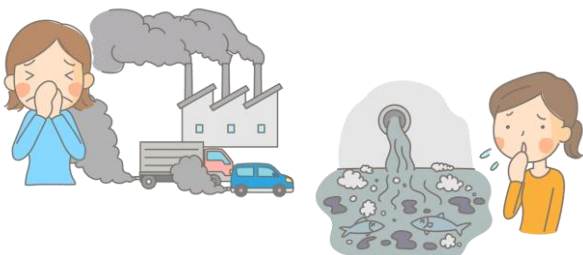


カブトガニ



タイワンツバメジミ

大気・水環境の保全



出典: 政府広報オンライン

農地の保全



二里町 炭山の棚田



出典: 農林水産省HP

野生の動植物に関する正しい知識を持ち、今ある自然を後世に残していく行動が必要です。

伊万里市では、下水道や浄化槽などの汚水処理の普及や環境保全型農業を推進するなど、自然に負荷をかけない取組により、自然と共生するまちを目指します。

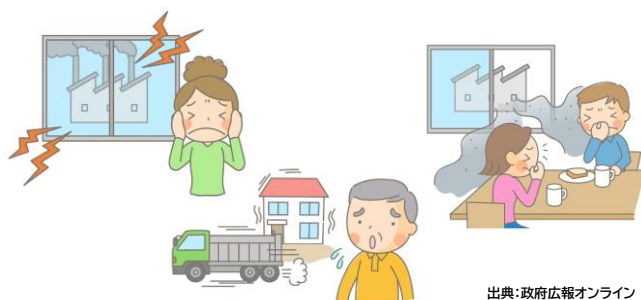


出典: 環境省HP

2

住みよい環境づくり

騒音・振動・悪臭の防止



出典: 政府広報オンライン

都市景観(歴史的まちなみ)の保全



鍋島藩窯 大川内山

まちの美化とペットの適正飼育



騒音、振動、悪臭は、主に事業活動によって発生することが多く、周辺住民の生活の快適性を阻害することがあります。そのため、事業者等は周辺環境に十分配慮した活動を心がける必要があります。

伊万里市では、環境測定やパトロールを継続して行うとともに、苦情が発生した場合は迅速に対応し、市民が安全・安心な生活ができる住みよいまちを目指します。

第7章 目標実現に向けた取組(環境保全活動)

本編
P61
I
P64



豊かな環境を次世代へ引き継ぐまち



1

環境教育・学習の推進

環境教育・学習の推進



■保育園での出前講座



多様な主体の協働・連携の推進



■伊万里リサイクルフェア



■伊万里湾清掃



伊万里市の脱炭素のシンボリックな施設 「カーボンニュートラルライブラリー」



■伊万里市民図書館

環境問題を身近なものとしてとらえ、理解するとともに、私たちそれぞれが**環境保全に対する意識を高め、自主的で積極的な取組**に結びつけていく必要があります。

伊万里市では、出前講座の開催や市民団体等が行う環境学習の支援を行い、**環境保全意識の向上**を図ります。

2025年7月に開館30周年を迎えるにあたり、これまでよりさらに環境と人にやさしい施設を目指した改修を実施し、**伊万里市の脱炭素や環境学習の拠点**としての付加価値を加え、これからも長く市民に愛される図書館を市民との協働で運営していきます。



第8章 計画の推進・進捗管理

本編
P65
I
P67

本計画に掲げる施策は、関係部署との十分な連携・分担のもと着実に推進します。あわせて、市民、事業者、CSOとの協働を一層推進するとともに、自主的な活動を支援していきます。

また、計画の進行は、『計画・実行・点検・改善』というサイクルで管理し、進捗状況はホームページに公表します。





iMAR!

お問い合わせ先

伊万里市 市民交流部 環境政策課

〒848-8501 伊万里市立花町1355番地1

☎0955-23-2144 <https://www.city.imari.lg.jp/>

計画の全体版はこちらから

